



Chartered April 11, 1998

THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

President : Yasuo Ueno Address: 〒659-0074 2-8-304 Hirata-cho, Ashiya, Japan
Mail : uenoashiya@kbd.biglobe.ne.jp
URL : http://www.kobeymca.org/kobe_ymca/ys/ashiya.html

主 題

- 国際協会会長 Ulrik Lauridesen (デンマーク)
"Let Your Light Shine" 「輝かそう、あなたの光を」
- アジア太平洋地域会長 利根川恵子 (東日本)
"Be the light for change" 「変革のための光となろう」
- 西日本区理事 深谷 聡 (名古屋クラブ)
"Let's illuminate the light of hope for future"
「未来に灯そう(ともそう)希望の光り」
- 六甲部部长 井出 浩 (神戸クラブ)
「YMCA とのさらなる協働を目指して」
- 芦屋クラブ会長 上野恭男
「楽しいクラブライフを！」

今月の聖句

すると、一同は聖霊に満たされ、"霊"が語らせるままに、ほかの国々の言葉で話し出した。

<使徒言行録 2章4節>

6月第1例会

と き: 2024年6月19日(水) 19:00~21:00

と ころ: ホテル竹園芦屋

司 会: 桑野友子ワイズ

1. 開会点鐘 上野恭男会長
2. クラブソング斉唱 一同
3. 聖句朗読 羽太英樹ワイズ
4. 会長交代式 上野恭男会長から柏原佳子会長へ
5. 食前感謝 田辺征一ワイズ
6. 会食・懇談
7. 円卓を囲んで「芦屋クラブのこれからを話し合う」
次期会長 柏原佳子
8. 第2例会議事録の承認 上野恭男会長
9. 事業委員の報告 各事業委員
10. YMCA報告 横山徹太郎担当主事
11. ニコニコ献金報告 坂東幸子ワイズ
12. 誕生日祝い 上野恭男会長
上野恭男・桑野友子・船橋知子
13. 閉会点鐘 上野恭男会長

会 長 上野恭男
直前会長 大岩雅典
副 会 長 山口光一・福原吉孝
書 記 柏原佳子
会 計 桑野友子
監 事 島田 恒
担当主事 横山徹太郎
六甲部国際・交流主査 柏原佳子

6

June, 2024
324号

この1年を振り返って

会長 上野恭男

早いもので、会長に就任して1年が過ぎようとしています。クラブの会長の役割を丁寧に実践してきたつもりです。楽しい第1例会はEMCにつながる基本です。ゲストスピーカーを厳選して会員の皆さんに満足していただけた例会が何回あったでしょうか。あの例会は良かったとか想えば順位を付けたくありませんが、すべての例会は会員と心を通わせて共に過ごしたことを想い起し、すべて良かったと心から思います。



芦屋クラブ恒例のクリスマス会は西宮クラブとの併催でしたが、25周年記念会を兼ねて往年のクリスマス会の雰囲気でした。

3月のゲストスピーカーは YMCA の OB、松田康之氏を迎え「能

登半島地震支援」の災害現場からの生の現況報告をしていただき、タイムリーな企画でした。

5月例会は、「サンノゼの光と影」と題した山本一牧師の講演でしたが、京都からの参加者を含め12名のゲストで華やかな例会でした。



コロナでこの4年間自粛を強いられてきましたが、これからは枷が取れて自由に歩むことが出来ます。楽しくなければワイズではない！この標語のもと、次期に引継がれる事を願います。

5月例会会集計

第1例会出席		例会出席率		BF切手	
メンバー	13名	出席者	13名	累計	gm
メネット	1名	メイクアップ	1名	ニコニコ	
コメント		合計	14名		
ビジター	6名	在籍者	18名	17,560 円	
ゲスト	5名	(内広義会員1名)			
合計	25名	出席率	82.4%	累計	158,031 円

5月第1例会報告

日時：2024年5月15日(水)19:00～21:00

場所：ホテル竹園芦屋 (敬称略)

参加者：上野恭男会長・柏原佳子・桑野友子・権 甲植・島田 恒・田辺征一・堤 清・中島かおり・中山豊美・羽太英樹・濱瀬真知子・坂東幸子・福原吉孝・船橋知子(各ワイズ)、横山担当主事・島田保子メネット

ゲスト：山本 一牧師(ゲストスピーカー)・大西 謙・榎原良行・平 家文・平 真理(島田ワイズ友人)

ビジター：松村隆孝・苗村昌基・志田育夫・宮崎順己・仁科保雄・仁科節子(以上京都キャピタルクラブ)

5月例会は、京都から仁科元西日本区理事始め5名の来訪があり、クラブ関連5名(うち2名は初めて)と併せ賑やかな例会となった。

体調不良をおして参加された羽太メンによる聖句朗読と解説に聞き入り、会食・懇談を楽しみ、今日のスピーカー山本



一牧師の動画やスライドを駆使しての話に聞き入った。山本牧師はカリフォルニアサンノゼの教会に日本人宣教師として派遣され、帰日後は伊丹教会牧師として働かれています。

テーマは「サンノゼの光と影」、シリコンバレーと称されるサンノゼには IT の

大手 Google、Apple、Microsoft などがひしめき世界経済を牽引している。そこでは優秀な社員は高額の年収を得ているが、落ちこぼれてしまうと毎日の食事や医療に事欠き、沢山のホームレスが存在する矛盾に満ちた場所でもある。

そんな状況を映像で分かりやすく説明され、そのような環境のなかで教会として取り残された人々に仕えている働きを紹介された。大切なことは outreach、待つのではなくこちらから人々のところへ出かけていくこと、compassion(共感)の大切さを語られた。LGBTの方の教会でのスピーチ「ハジメは同じ人間として共感をもって自分を受け入れてくれた」のメッセージに一同感動を禁じえなかった。



第2例会議事承認・事業委員報告・YMCA 報告・誕生日祝い・ニコニコ報告等、通例の報告を終え、大きなインパクトを与えられて閉会となった。

島田 恒

「サンノゼの光と影」で思うこと

山本一さんは2013年にメソジスト派日本人教会の牧師としてアメリカ西部の街サンノゼに派遣される。サンノゼはカリフォルニア州のシリコンバレーにある街で、アップルやグーグルの本社ビルをはじめ著名なIT企業が多くあり、州のGNPは世界6位で優に先進国1国をしのごく。企業では社員間の雑談から大きなイノベーションが生まれており、休憩時間のコーヒータムがその役割を果たしているとのこと。

一方、IT産業の急速な成長により社員の平均年収は2680万円となったが、同時に物価は高騰(1か月の家賃:2LDK50万円、ガレージ15万円、テント10万円)して貧困層にホームレスの増加をもたらした。彼らの居場所は「ジャングル in サンノゼ」と呼ばれ、銃による犯罪も多く、マリファナ接種者も多い。公園に行くともマリファナの臭いがするとのこと。山本さんは牧師として宣教師としてホームレスの人たちに何ができるかを祈り求める。開かれた教会というだけでは最早どうしようもない。積極的な地域社会とのつながりの大切さ、即ち Compassion Ministry(憐みの大使)と Community Outreach(地域社会へ手を伸ばす)に気づいていかれる。当初は早天祈禱会、街清掃、おにぎりとお水の提供をするが不評に終わる。彼らが何を欲しているかを考え直してコーヒを提供したところ評判がよくホームレスたちは次第に心をひらいていき、活動に対する賛同者も現れた。おりしもコロナ禍の中のワークであり、いろいろと大変であったが、Outreachには忍耐が必要であることをも学ばれたとのこと。

日頃の交わりと雑談そして地域への配慮と奉仕の大切さはワイズメンズクラブを運営していく上にも大切であることを改めて確認したひと時でもありました。

田辺征一

「サンノゼの光と影」を知って

5月の第1例会は、伊丹教会の山本一牧師の非常に興味深いお話でした。

サンフランシスコの南に位置するシリコンバレー、誰もが知っている世界最大のハイテク産業の集積地です。その中心都市であるサンノゼの日系教会の牧師として、7年間活躍され、人々との感動する出会いと交流。

まず、はじめにプロジェクターにグーグルアースが、映し出され、シリコンバレーのサンノゼの都市がポイントされました。

GAFと呼ばれる巨大IT企業の1つGoogleの本社オフィスが映し出されます。まさに、シリコンバレーは世界注目の光輝く誰もが想像できる場所です。

さて、影の部分は、想像を絶する事ばかりです。災害時でもないのに他人のガレージ、庭でのテント生活をする人達、それすら無い人達。その中、牧師は1人の家もないジェンダーレスの女性の話がされました。その彼女が、最後には、生きる力を取り戻して、教会の皆に受け入れられ、スピーチする様子は、人間の可能性、尊厳すら感じました。

サンノゼの光の部分が輝けば輝くほど、影の部分はより深く沈んでいく事も知りました。

色々な体験話を、聞いて最後に山本牧師のアウトリーチという言葉が耳にいつまでも残ります。

アウトリーチ...自分から出かけて行って、手を差し伸べる。そのことが、出来ればと思いました。

濱瀬 真知子

サンノゼは世界・社会の縮図

山本牧師のお話は、とても興味深く聴かせていただきました。世界最先端技術の中心であるシリコンバレー。そしてその裏側には、当然のようにある貧富の差。アメリカでは、多数いるホームレスの人たちを支えるのが、教会やYMCA等のNPOです。山本牧師の教会でホームレスの人が話をする映像は、まるで映画のようでした。サンノゼの街に、世界・社会の縮図があると感じました。とてもいいお話を聴かせていただき、ありがとうございました。

横山徹太郎

仁科保雄ワイズに学ぶ事

京都キャピタルクラブの仁科保雄ワイズは、2022年11月にも芦屋クラブ第1例会に5名で参加くださっています。キャピタルクラブは40名ほどのクラブ構成で日本区理事、西日本区理事、事務局長も在籍されるクラブです。上野会長が本例会の冒頭挨拶で、仁科元理事には、芦屋クラブ設立時にバナーを依頼、また芦屋クラブ10周年には、H竹園芦屋のロビーに掲示されているクラブエンブレムを寄付していただいたと紹介されました。25年前に東西が分割され、第1回西日本区の節目に柏原はBF事業主任として京都キャピタルクラブに招待を受け、受け売りのBFファンドについてお話をしたこともご縁が続いた様に思います。今回、切実に感じた事は仁科ワイズが、高齢になられた今も「少人数ではあってもきちんとした例会をしている芦屋クラブから学んでほしい」と新しいメンバーを指導される姿勢です。今回も何度かのメール連絡の中、頭の下がるご対応に私自身多くを学ばせていただきました。下記メールは、お礼メールに対して最後にいただいたものです。素敵な機会を頂戴し、6月例会は、クラブメンバーと共に「これからの芦屋クラブ」をどういった風に展開していくのかを考えたいと思います。

柏原佳子



上野会長様 柏原佳子書記様

昨夜は芦屋クラブの素晴らしい例会に出席させていただきました。私たちも来期の責任ある委員長や三役のメンバーが参加させていただき、大変参考になったと喜んでおります。色々の事柄を参考にさせて頂き、クラブ活動に生かして行きたいと思っております。本当に有難うございました。皆様によろしくお伝え下さい。

京都キャピタルクラブ 仁科保雄

【 3つの小窓 】

◆【マスターズこぼれ話】今一度振り返り紐解いてみました。★生涯、米国アマチュア・ゴルファーで通した伝説の人【ボビー・ジョーンズ(アマ時代に4大会制覇)】はジョージア州オーガスタに1932年、英国人の名設計家【アリスター・マッケンジー】と共に【オーガスタ・ナショナルゴルフクラブ】と【マスターズ】を創設した。★出場者記録としては【最年少優勝】タイガーウッズ～21歳3ヶ月【最多出場記録】ゲリープレイヤー～52度。【最多優勝回数】ジャック・ニクラウス～6度【最年長優勝】ジャックニクラウス～46歳、等がある。【尚マスターズは招待制で優勝者は永年招待となる。】★現地開発前は果樹園だった為それを生かし、コース全体に花が咲き乱れ誰もが感動する。★毎年コースの



一部が改造され(グリーンの形、大きさ等も変わり、攻め方(マネジメント)も変わって難コースが出来上がっている。何故オーガスタはむずかしいのか?皆からそう言われながらも選手たちは再挑戦をする。守るコースでなく挑戦がなければ勝利はないコース設計になっている。★我が国においてもプロにならず【アマチュア】の生涯を送った人が数人いる。古くは日本オープン2度優勝の赤星四郎さん。《後に日本の名門ゴルフコース設計家。》近代では中部銀次郎さん。(甲南大ゴルフ部卒2001年59歳で逝去)がいる。日本アマを6度も獲得。生前には、盛んに【ボビー・ジョーンズ】の事を口にしていた。と云われている。(存命ならば、彼と同じく学生アマで長年、頑張っていた松山選手の2021年東洋人初のマスターズ勝利を共に喜んでいただろう……。)

②◆【動物虐待のニュース】相変わらず可哀相な猫・犬たちが……。昨年に警察が摘発した事件は前年比9%増の181件あり逮捕・書類送検した人数も最多の206人だった。近隣住人ら第三者からの通報が多く、警察庁は【動物虐待】への感心が高まっていると言う。種別では【猫が最多の97件】ついて【犬が65件】と多く猫の半数は生きてまま捨てる【遺棄】犬の半数が餌を与えないなどの【虐待】だった。何と悲しい出来事か。③◆【可愛いペット風景】を又一つ。花が散り青空と新緑の午前中。買物に向かった老人が一人。【ブツブツ独り言】(最近やけに多くなった)を話しながらマイペースで歩いている。途中から公園帰りの茶色の【トイプードルの幼犬】と道路で合流する。5Mほどの間隔でその後を往く老人。《何やらブツブツ話している》前を行くリードに引かれたトイプードルの幼犬が暫くす



るとあの、つぶらな瞳で【はて…?】と何度も首をかしげながら、私を振り返る。本当にいいらしい。彼にとっては不思議な【独り言】が気になって仕方ないのだろう。後から気付いた私はひっそりごめんなさい!と謝っていた。

篠坂幸彦

『 聖句 読み説き 』

主イエスの復活後50日目に、弟子たち一同が一つになって集まって祈っていたところに主が昇天される前に予告されていた聖霊が降った。聖霊について、その表現の難しさの中で、使徒言行録の記者である弟子のルカは「突然、激しい風が吹いて来るような音が天から聞こえ、彼らが座っていた家中に響いた。そして、炎のような舌が分かれ分かれに現れ、一人一人の上にとどまった。すると、一同は聖霊に満たされ、”霊“が語るままに、ほかの国々の言葉で話し出した。」と伝えた。当時、エルサレムには多くの外国で生まれ育ったユダヤ人もいたが、自分の故郷の言葉が話されているのを聞いて驚く。この日は五旬節(ペンテコステ)と呼ばれ、新しい時代が始まる。それはキリスト教会の誕生であり、ユダヤの民族宗教から世界宗教への宗教改革であった。

羽太英樹

5 月第2例会議事・報告

と き: 5月22日(水)19:00~

と ころ: 芦屋市民センター204号室

参加者: 上野、大岩、桑野、島田、田辺、坂東、福原、
(各ワイズ) 横山担当主事

議事・報告

□第1例会予定

・6月19日(水)次期会長と共にこれからの一年を考える

・7月17日(水)キックオフ例会

六甲部小野勅紘部長訪問

□今後の予定

・6月4日(火)2025年度西日本区大会実行委員会

・6月8日(土)西日本区大会 開会 12時20分~

参加者: 上野会長、大岩、柏原、桑野、田辺、坂東、
福原、船橋(各ワイズ) 8名

懇親会: 18:00~20:45 ANA クラウンプラザホテル

新幹線乗車券配布済 @7,000円支給済

・6月26日(水)第2例会

上野会長宅(ポトラックで開催)

□4月会計報告 桑野会計 承認

□その他:

みどり作業所のみどり基金募金のお願いあり

□YMCA 報告 横山担当主事

神戸 YMCA 総会 6月22日(土)10時~15時

昼食して交わりを持つ

文責: 上野恭男会長

☆ 鶴丹谷次期理事が2025年6月14日(土)神戸で開催予定の西日本区大会のアピールの為にの帽の帽子が柏原次期会長の下に届きました。

名古屋の大会に参加する六甲部のメンバー全員がこの帽子をかぶって登壇し、来年の西日本区大会をアピールします。芦屋クラブは、理事杯ゴルフ大会の担当です。アピール頑張りましょう!



ユースバスケットボール

2024年度の神戸 YMCA レッズ(バスケットボール登録チーム)の活動が始まっています。新チームになって初の試合は神戸市民体育大会!初めて尽くしの試合にも関わらず、ボールを持ったゴールに向かう気持ちがとても強く堂々としたプレーが続出しました。ベンチからずっと大きな声を出し最後までチーム一丸となってプレーことができました。残念ながら初戦突破とはなりませんでした。たくさんを学ぶことができました。そして、先日行われた前期リーグ戦2戦目は惜しくも逆転負け。



負けて悔し涙を流す選手もいました。試合後には選手たちで反省会をして、次の試合では全員が互いにほめる・励ます声かけは一番を目指して

頑張ります。まだバスケットボールを始めて1年未満のメンバーが半分以上いる中で健闘しています。これでリーグ戦は通算2勝2敗。次戦は6月25日です!応援よろしくお願ひします。神戸 YMCA レッズは、メンバー、リーダーが FAIR PLAY の精神を持ち、共に高め合えるチームに成長できるよう活動していきます。指導者も募集中です。中学生から大学生のボランティアが活躍中!こどもとともに成長する活動をしませんか。興味のある方はお問い合わせください。

GW(4/27-5/2)能登町災害支援ボランティア

学生たちの休みに合わせて、解体する家屋の中の整理や思い出の整理のお手伝いに行きました。津波の被害のあった家屋の家具や荷物の搬出等を行いました。日中は暑く、水分補給をしながらの

作業です。手際よく片付ける学生たちを見て「プロの方たちですか?」と、質問するお母さん。キャンプで培った技術やチームの手際の良さが役に立っています。まだまだこれから、できることを一つひとつやっていきます。



担当主事 横山徹太郎

編集後記: ◆能登半島にまた震度5、1月の地震の復旧復興が遅れている中、心が痛みます。YMCAのボランティア活動も引き続き宜しくお願いします。◆今年は梅雨入りが例年より遅れるとか、4月5月が暑かったので、涼しく感じる朝晩です。◆女子ゴルフ頑張っていますね。男子もニュースになるような成績を上げて欲しいものです。◆ワイズの年度末、6月締めくくりの例会、芦屋クラブの明日に向かって良い話し合いを持ちたいですね。

桑野